

競技別実施要項

スポーツくじ



栃木県民スポーツ大会はスポーツくじの助成を受けて開催しています

軟式野球競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時30分 競技開始 9時00分	市対抗；県総合運動公園(本, A, B) 町対抗；石井緑地野球場(A, B)
10月27日(日)	集 合 8時30分 競技開始 9時00分	県総合運動公園野球場(A, B)

※10月20日が中止の時は、10月27日も中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チーム編成	参加市町村数	計
市 対 抗	1	19	20名以内	14チーム	500名
町 対 抗	1	19	20名以内	11チーム	

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし、全試合7回戦とする。
- イ 決勝戦をのぞき試合時間を100分とする。時間内に試合が終了しない場合は、完了した均等回にて勝敗を決する。
- ウ 全試合において試合が同点の場合は延長戦を行わず特別規則(無死1塁2塁とし1イニングを行う。得点の多い方が勝ちで、同点の場合は抽選を行う)を適用し、勝敗を決する。
- エ 5回以降7点差を生じたときは均等回まで実施し、得点差によるコールドゲームとする。
- オ 3位決定戦は行わない。

(4) 規 定

- ア 令和6年度公認野球規則及び大会規定(服装規定を除く。ただし、0～99番までの背番号で監督は30番、主将は10番をつける)を準用する。
- イ 使用球は、公認ケンコーボールM号とし、毎試合2個チーム持ちとする。
- ウ 指名打者ルール(DH制)を適用する。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

- (6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、10月11日(金)までの変更は認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

ソフトボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月13日(日)	集 合 8時30分 競技開始 9時00分	柳田ソフトボール場(1.2.3.4) 柳田野球場(B.C)
10月20日(日)	集 合 8時30分 競技開始 9時00分	柳田ソフトボール場(1.2)

※ 10月13日が中止の時は、10月20日も中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市 対 抗	1	14	15名以内	14チーム	375名
町 対 抗	1	14	15名以内	11チーム	

※ 満40才以上(令和6年4月1日現在)の男子で編成する。

監督が選手として出場する場合は、14名の枠で、選手登録をすること。マネージャー1名のベンチ入りを認める(男女どちらでもよいが、選手を兼ねることはできない。なお、チーム編成は15名以内とする)

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし7回戦とする。
ただし、全試合80分を超えて新しいイニングに入らない時間制とし、同点の場合は、抽選とする。
- イ 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた場合は得点差コールドゲームとする。
- ウ 3位決定戦は行わない。

(4) 規 定

- ア 大会規定以外のルールは、令和6年度オフィシャルソフトボールルールを適用する。
- イ 金属性歯スパイクの使用は禁止する。
- ウ ユニフォームは全員同色同型のを着用し、帽子は必ず着用する。ユニフォームナンバーは1～99番とし、主将は10番、監督は30番をつける。
- エ チームは、試合開始予定時間30分前又は、前の試合4回終了時迄に当該球場に集合のこと。
- オ 試合前のフィールドングは行わない。
- カ 打者、走者、次打者、ベースコーチはヘルメットを着用のこと。捕手は、捕手用防具を完全着用のこと。場内練習時は、最低でもマスクを着用のこと。
- キ 投球距離は14.02mとする。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。
ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

- (6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当該チームの大会初戦開始 30 分前まで(厳守)に変更する選手を含めた参加選手全てを記入した用紙(参加申込書と同書式、市町体育・スポーツ協会長印押印のもの)を提出したものについては変更を認める。
※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

- (7) 試合球 ナガセケンコー3号球を各チームは、試合ごと新球2個持ち寄りとする。

(8) 表 彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム名を記入した賞状を1枚授与する。

卓球競技実施要項

1 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時30分 開 始 式 9時00分 競 技 開 始 9時30分	宇都宮市体育館 (メインアリーナ)

2 編成及び参加人員

区 分	監督	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	一般男子(年齢制限なし) 単1名 一般女子(年齢制限なし) 単1名 一般女子・壮年女子 複1組 (年齢制限なし・35才以上)	9 13名以内 (予備登録4名含)	14 チーム	325 名
町対抗	1	壮年A男子(30才以上) 単1名 壮年B男子(40才以上) 単1名 一般男子・壮年男子 複1組 (年齢制限なし・35才以上) 高年男子(50才以上) 単1名 計7組	9 13名以内 (予備登録4名含)	11 チーム	

※7組揃っていることを原則とし、単・複とも、選手の重複は認めない。なお欠員が生じた場合は、オーダー提出前に必ず相手に通告のこと。年齢は、令和6年4月1日現在とする。

※各チーム男女を含めて選手4名以内で予備登録ができる。

3 競技方法

- (1) 市・町対抗はリーグ戦の後、決勝トーナメントとし予選2位は同一対戦を避ける抽選とする。
- (2) 11本5ゲームマッチとする。
- (3) 3位決定戦は行わない。
- (4) 試合順序は、①一般男子単、②一般女子単、③一般女子・壮年女子複、④壮年A男子単、⑤壮年B男子単、⑥一般男子・壮年男子複、⑦高年男子単の順とし、4試合先取チームを勝ちとする(年齢の若い種目に出ることは自由)ただし、初戦に限りそのチームの試合は最後まで行う。

4 競技ルール

- (1) 現行日本卓球ルールを準用する。
- (2) 使用球は公認球とする(40mmホワイトボール使用)。
- (3) ゼッケン(姓・市町名、縦18cm、横25cm)を着用する。上3分の2に姓、下3分の1に所属市町名を明記すること。

5 参加資格

- (1) 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締切日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- (2) 小・中・高校生は出場できない。
ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
- (3) 不正行為が認められた場合は失格とする。

6 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は当日の受付締切までに全員の氏名を記載した変更届(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したのものについては変更を認める。

※ 大会開催要項、7 中央大会の実施方法、1 2) 選手変更 を参照のこと。

7 表 彰

- (1) 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝旗(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- (2) 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
- (3) 賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

8 その他

使用球は、栃木県卓球連盟において用意する。

ゲートボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月27日(日)	集 合 8時00分 開 始 式 8時30分 競 技 開 始 9時00分	宇都宮市陽南第一公園

※10月27日(日)が荒天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チ ャ ム 編 成	参 加 市 町 数	計
市 対 抗	1	8	9名以内	14 チーム	225 名
町 対 抗	1	8	9名以内	11 チーム	

ア チームは、5名の競技者及び3名以内の交代競技者で構成する。うち1名を主将とする。

イ チームには、専任の監督1名を置くことができる(選手を兼ねることはできない)。

(3) 競技方法

ア 市対抗・町対抗ともに予選リンクを行い、上位チームにより決勝トーナメントを行う。

イ 3位決定戦は行わない。

(4) 規 定

ア 競技並びに審判は現行(公財)日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則及び審判実施要領による。

イ 監督及び主将は、定められた表示マークをつけなくてはならない。

ウ 選手は必ずチームで統一したユニホーム(上下)を着用する。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生○○連)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、大会当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、1 2) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) そ の 他

使用する用具(スティック・ゼッケン)は、持ち寄りとする。

ただし、ゲート・ボールは、大会事務局で用意する。

バドミントン競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 9時00分 開 始 式 9時30分 競 技 開 始 9時45分	日環アリーナ栃木 (サブアリーナ)

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チ ャ ム 編 成	参 加 市 町 数	計	
市 対 抗	1	男子 複 女子 複 混合 複	15	6名以上 16名以内	14 チーム	400名
町 対 抗	1	複3組 計3組	15	6名以上 16名以内	11 チーム	

※ 選手は、ダブルス3組、指定通り（男子・女子・混合）そろっていること。

※ 監督は選手を兼ねることができる。

※ オーダーは、エントリー選手の中から試合ごとに選手編成条件（男子・女子・混合）に従って組むこと。

※ 申込用紙の年齢は、令和6年4月1日現在とする（試合出場の年齢制限はなし/保険加入のための記入）。

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。
- イ 3位決定戦は行わない。
- ウ 試合順序は、①男子複②女子複③混合複の順とし、2試合先取チームを勝ちとする。ただし、各チームの初戦のみ、試合は最後まで行う。
- エ ラリーポイント制とし、1回戦から決勝戦までの全試合21ポイント制とする。

(4) 規 定

- ア 令和6年度日本バドミントン協会現行競技規則による。
- イ 使用シャトルは、ヨネックス・ニューオフィシャル(温度表示番号4番)とする。
- ウ 試合時の服装(色つき着衣可)は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、背面には市町名(横30cm×縦15cm)のゼッケンを必ず着用のこと。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場すること。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。ただし、大会当日までに必ず申込先へ連絡すること。
- イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕

ウ 各試合前、参加資格が満たされているかどうかを対戦チームとの整列・挨拶時に主審立ち会いの下、相互確認を行う。この時点までに不正行為が認められた選手がいた場合は、そのチームを失格とする。

(6) 選手変更

申込後やむを得ない理由により選手変更が生じた場合は、試合当日朝の代表者会議までに各市町体育・スポーツ協会長印の押印された選手変更届け用紙に記入のうえ、本部へ提出すること。

※大会開催要項、7中央大会の実施方法、12)選手変更を参照のこと。

(7) 表 彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町へ優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名とチームを記載した賞状を1枚授与する。

(8) そ の 他

使用シャトルは、ヨネックス・ニューオフィシャル(温度表示番号4番)とし、持ち寄りとする(1チーム1ダース)。

バレーボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月27日(日)	集 合 8時30分 開 始 式 9時00分 競 技 開 始 9時30分	県北体育館(市対抗) DAIKYO アリーナ佐野(町対抗)

(2) 編成及び参加人員

区 分	監督	コーチ	マネージャー	選手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	男子	1	1	1	15	18名以内	14チーム
	女子	1	1	1	15	18名以内	14チーム
町対抗	男子	1	1	1	15	18名以内	11チーム
	女子	1	1	1	15	18名以内	11チーム
							900名

(3) 競技方法 ア **市対抗男女・町対抗女子はトーナメント方式、町対抗男子はリーグ方式**とし、3セットマッチとする。

イ **21ポイント制とする。**

ウ 3位決定戦は行わない。

(4) 規 定

ア 令和6年度日本バレーボール協会制定9人制競技規則※による。

イ 使用球は5号検定球(カラーボール)とし、ネットの高さは男子 2.38m、女子 2.15mとする。

※令和6年使用球:男子 ミカサ(V300W)、女子 モルテン(V5M5000)

ウ 監督・コーチ・マネージャー・主将はマークを必ずつけ、チームスタッフは統一された服装であること(短パン等は不可)。

エ 選手のユニフォームは同一のものとし、背番号は1~18までの通し番号を原則とする。市町名を必ずつけること。

オ 参加チームは、審判員1名を登録すること。また、審判員は選手を兼ねることができる。なお、各参加チームには主・副審、ラインズマン等の協力を依頼。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生○○連盟)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。

※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

ア 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する(競技の総合表彰はしない)。

イ 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位から第3位までに賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) そ の 他

使用球は持ち寄りとする。

バスケットボール競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 9時00分	10/20 マルワ・アリーナ栃木 / 雀宮体育館
10月27日(日)	競技開始 10時00分	10/27 雀宮体育館

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	コ ー チ	選 手	チ ャ ム 編 成	参 加 市 町 数	計	
市 対 抗	男子	1	1	12	14名以内	14チーム	700名
	女子	1	1	12	14名以内	14チーム	
町 対 抗	男子	1	1	12	14名以内	11チーム	
	女子	1	1	12	14名以内	11チーム	

- (3) 競技方法
- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とし、競技時間は4ピリオド〔1ピリオド7分〕とする。〔ハーフタイム7分、ピリオド間1分、延長戦は3分間〕
 - イ 3位決定戦は行わない。
- (4) 規 定
- ア 現行日本バスケットボール協会競技規則による。
 - イ 使用球は、男子公認7号・女子公認6号ボールとする。
- (5) 参加資格
- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
 - イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
 - ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更
- 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当該チームの大会初戦30分前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したのものについては変更を認める。
- ※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。
- (7) 表 彰
- ア 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する(競技の総合表彰はしない)。
 - イ 市対抗・町対抗ともに、男女別に第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名チーム名を記載した賞状を1枚授与する。
- (8) そ の 他
- ア 使用球は、持ち寄りとする。
 - イ ユニフォームについては、番号の小さい方が白、大きい方が濃とし、市町名が入っているものを着用する。
 - ウ 会場の準備を第1試合と第2試合のチームで行う。
 - エ 試合終了後の片付けは、最終試合両チームで行うこと、なお、ゴミは各チームで持ち帰る。
 - オ T・O(オフィシャル)は第1試合を第2試合のチームで行う。なお、前半は番号の若いチーム、後半は番号の大きいチームで行う。第2試合からは、前試合の負けチームで行う。

ソフトテニス競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時30分 開 始 式 9時00分 競 技 開 始 9時30分	栃木県総合運動公園テニスコート

※ 10月20日が雨天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	主 務	選 手	チー ム 編 成	参 加 市 町 数	計
市 対 抗	1	1	一般男子(年齢制限なし) 1組	12	14名以内	350名
			一般女子(") 1組			
町 対 抗	1	1	男子35(35才以上) 1組	12	14名以内	
			女子35(") 1組			
			シニア(50才以上性別不問) 1組 計5組			
			予備登録2名			

※ 5組そろっていることを原則とし、年齢は、令和6年4月1日現在とする。

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式または、リーグ戦方式とする。
- イ 3位決定戦は行わない。
- ウ 試合順序は、①一般男子 ②一般女子 ③男子35 ④女子35 ⑤シニアの順とする。
- エ トーナメント方式の場合は第1試合を総当たりとし第2試合よりコールドゲームとする。

(4) 規 定

- ア (公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。
- イ 使用球は、ケンコーボールとする。
- ウ ユニフォームはテニスの服装で、シューズはテニスシューズを用いること。
- エ はがき大の市町名のマークを左腰につける。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔日本学連(日本学生ソフトテニス連盟)登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したのものについては変更を認める。対戦毎に出場選手の変更を可能とする(但し登録選手内に限る)
大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名を記載した賞状を1枚授与する。

テニス競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日		日 程	会 場
10月27日(日)	市対抗	受付 8時15分～8時30分	栃木県総合運動公園テニスコート
		監督会議 8時30分	
		競技開始 8時45分	
	町対抗	受付 9時00分～9時15分	
		監督会議 9時15分	
		競技開始 9時30分(予定)	

※10月27日が荒天の場合は、中止とする。

(2) 編成及び参加人員

区分	監督	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市対抗	1	一般男子(年齢制限なし) 単1組	8	12名以内	300名
		一般男子(年齢制限なし) 複1組			
		壮年男子(45才以上) 複1組			
町対抗	1	一般女子(年齢制限なし) 単1組	8	12名以内	
		一般女子(年齢制限なし) 複1組			
		計5組			

※5組そろっていることを原則とし、単・複とも、選手の重複は認めない。

ただし、試合ごとに補欠及び単複の入れ替えはしてもよい。年齢は、令和6年4月1日現在とする。

- (3) 競技方法
- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。ただし、初戦に限りそのチームの試合は最後まで行う。
 - イ 試合は、6ゲームズマッチ(6ゲームズオール後、7ポイントタイブレイク方式)とし、すべてノーアドバンテージスコアリング方式とする。荒天の場合、試合内容を変更することがある。
 - ウ 3位決定戦は行わない。日程の関係でコンソレは行わない。
 - エ 試合順序は、①一般女子複②一般男子複③壮年男子複④一般女子単⑤一般男子単の順とする。
 - オ 進行状況把握のため、1試合毎、勝者が、本部に報告する。対抗戦最終結果も、速やかに勝者が報告する。
- (4) 規 定
- ア 日本テニス協会競技規則による。使用球は、日本テニス協会公認ダンロップイエローとする。
 - イ マーク(市町名)を着用する。(はがき大)・・・所属市町明確化のため
- (5) 参加資格
- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
 - イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生○○連盟)登録者を除く〕
 - ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更
- 申込み締切後の変更は、原則として認めない。但し、やむを得ない場合については大会当日の受付〆切までに変更届に市町の会長印を押印の上で、一般男子・女子・ベテラン各1名のみ変更は認める。変更する場合、変更した選手が分かるよう朱書きまたはマーカーし、全選手名を記載したものを提出すること。
- (7) 表 彰
- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
 - イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。
- (8) そ の 他
- ア 選手は監督を兼ねることができる。
 - イ 使用球は、持ち寄りとする(1チーム10個用意のこと)。勝者がニューボール受領(次の試合に)。敗者は、セトボールを受領する。
 - ウ 所定のオーダー用紙(兼結果報告書)を試合数に応じて、各チームで準備する。
(自チームの控えと相手チーム用の2部作成する。その後、自チーム控え用を本部提出とする)

サッカー競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時30分 競技開始 10時00分	県総合運動公園サッカー場 A.B.C(市対抗) 真岡ハイトラ運動公園広場 I (町対抗)
10月27日(日)	集 合 8時30分 競技開始 10時00分	県総合運動公園サッカー場 A.B

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市 対 抗	1	19	20名以内	14 チーム	500名
町 対 抗	1	19	20名以内	11 チーム	

- (3) 競技方法
- ア 市対抗・町対抗によるトーナメント方式とし、試合時間は **60分(30分ハーフ)** とする。ただし、勝敗が決しないときはPK方式により次回進出のチームを決定する。また、決勝戦のみ20分間の延長を行う。それでも決しないときは、PK方式により決定する。
 - イ 3位決定戦は行わない。
- (4) 規 定
- ア 2023/2024年度日本サッカー協会競技規則による。
 - イ 試合開始時までに8名以内の交替要員(氏名)を主審に通告しておき、主審の許可を得て自由な交替ができるようにする(交替して退いた競技者が再び出場できる。交替用紙は不要とする)。
 - ウ 大会中に警告を2度受けた者は、次の1試合は出場できない。
 - エ 退場処分を受けた者は、それ以後の試合には出場できない。
 - オ ユニホームは、正、副の2着を用意する。
 - カ メンバー表(県民スポーツ大会用)を競技開始30分前までに提出のこと。
 - キ 監督が試合に出場する場合には、選手としても登録すること。
 - ク 参加チームは2名以上の帯同審判員(有資格者)を登録し、その者は審判を務める。帯同審判員は、選手を兼ねることができる。
- (5) 参加資格
- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
 - イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
 - ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更
- 申込み締め切り後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当該チームの大会初戦競技開始30分前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものについては変更を認める。
- ※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。
- (7) 表 彰
- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
 - イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。
- (8) そ の 他
- ア 使用球(検定球5号球)は、持ち寄りとする。
 - イ 準備は1試合目のチームが、片づけは最終試合のチームが行う。準備・片づけを放棄した場合には、次年度以降の当該チームの参加を認めない場合がある。
 - ウ 審判の割当てについては、組合せ表が確定後に別途周知する。

剣道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 9時00分 開 始 式 9時30分 競 技 開 始 9時30分	ユウケイ武道館 第一道場

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チ ー ム 編 成	参 加 市 町 数	計
市対抗	1	先鋒(35才未満) 1名 次鋒(") 1名 五将(") 1名 中堅(35才以上) 1名 三将(") 1名 副将(") 1名 大将(") 1名 計7名	7	8名以内	14 チーム
町対抗	1	先鋒(35才未満) 1名 次鋒(") 1名 中堅(35才以上) 1名 副将(") 1名 大将(") 1名 計5名	5	6名以内	11 チーム
					178名

※ 同一職種同一企業からの参加は、市対抗・町対抗とも3名以内とする。女子も参加できる。

※ 年齢が上の者が、下の区分に出場することを可とする。

年齢は、令和6年4月1日現在とする。

(3) 競技方法

- ア 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。
- イ 3位決定戦は行わない。
- ウ オーダーは、年齢順とする。
- エ 試合時間は4分。勝負のつかない場合は引き分けとする。
- オ 代表戦は監督の抽選による。区分については市対抗の部は、①先鋒②35才未満③35才以上④大将。町対抗の部は①35才未満②35才以上から代表者を選ぶ。

(4) 規 定

- ア 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」による。
- イ 各チームとも紅白の目印(巾5cm、長さ70cm)を用意する。
- ウ 選手は市町名及び姓を明記した名札をつける。

(5) 参加資格

- ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。〔学連(日本学生〇〇連)登録者を除く〕
- ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締め切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したのものについては変更を認める。
※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

- ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。
賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

(8) そ の 他

オーダー表は持ち寄りとする(オーダー表は、一枠縦26cm、横12cmとし市町名・選手名を入れる)。

柔道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 9時10分 監督・審判会議 9時30分 開 始 式 9時50分 競 技 開 始 10時00分	ユウケイ武道館 第二道場

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選 手	チ ー ム 編 成	参 加 市 町 数	計
市対抗	1	先鋒(31才未満) 1名 次鋒(") 1名 中堅(") 1名 副将(31才以上) 1名 大将(") 1名 補欠(31才未満) 1名 (31才以上) 1名 計7名	7	8名以内	14チーム
町対抗	1	ただし、31才以上の者が31才未満 のところに出場することは可	7	8名以内	11チーム
					208名

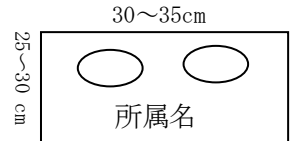
※ 当該年度の国体選手の出場は認めない。選手は男子とし、年齢は令和6年4月1日現在とする。

(3) 規 定

- ア 最新の国際柔道連盟(I J F)試合審判規定による。
- イ 勝敗の決定基準は「技あり」または「僅差(「指導」の差が2以上)」及び直接もしくは累積による「反則負け」をもって勝敗を決定する。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

(4) 競技方法

- ウ 選手は規定通りのゼッケンを必ず縫い付けること。無ければ失格とする(現在使用中のもので可)。
- ア 試合時間は3分とする。
- イ 市対抗・町対抗別によるトーナメント方式とする。ただし、同点の場合は内容を検討し、なお、内容も同じ時は「引分」の対戦から抽選で時間無制限(ゴールドスコア方式)の代表戦を行い、勝敗を決定する。3位決定戦は行わない。



(5) 参加資格

- ウ エア オーダーは、年齢区分ごとに段位の低い者から順に並べるものとする。試合中負傷などで補欠に交代する時は、段位順は問わない。
- ア 当該年度、全日本柔道連盟に登録しており、登録メンバーIDを有していること。
- イ 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
- ウ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。〔学連(日本学生○○連盟)登録者を除く〕

(6) 選手変更

- エ 不正行為が認められた場合は失格とする。申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の開始式前までに変更届用紙(市町体育・スポーツ協会長印を押印)を提出したものであるについては変更を認める(選手変更数は補欠を含め3名以内とする)。

(7) オーダー表

- ア B4版の西洋紙2枚を横に1cm重ねて糊付けし6等分に分け、左端に市町名を記載する。
- イ 左端から順に「先」～「大」を上、その下に出場選手の姓を記入したオーダー表を各市町で持参する。

市	先	次	中	副	大
町	○	○	○	○	○
名	○	○	○	○	○

(8) 表 彰

- ア 市・町村抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。
- イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位までに賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する。

弓道競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時00分 開 始 式 9時00分 競 技 開 始 9時30分	宇都宮市宮弓道場(屋板運動場)

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督・選 手	チ ー ム 編 成	参 加 市 町 数	計
市対抗	監督1名・選手8名、(内女子1名以上含む) 女子だけの編成も可。補欠登録は4名以内	13名以内 (監1、選8、補4)	14チーム	303名
町対抗	監督1名・選手7名、(内女子1名以上含む) 女子だけの編成も可。補欠登録は3名以内	11名以内 (監1、選7、補3)	11チーム	
年齢区分①青年(35才未満) ②壮年(35才以上～60才未満) ③高年(60才以上) [2区分以上を満たす]				

※ 年齢は、令和6年4月1日現在とする。

(3) 競技方法 近的競技(射距離28m)霰的使用(直径36cm)とする。市対抗・町対抗ともに、各自8射とし、的中数により順位を決める(的中制) 四ツ矢 二回(立射)競技の間合いとする。

※チーム間での的中数が同数の場合は、各自一射を行射し、的中数により順位を決める。さらに的中数が同じ場合は、一射の行射を繰り返し行う。

(4) 規 定 全日本弓道連盟「弓道競技規則」による。

(5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。

また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。

[学連(日本学生○○連盟)登録者を除く]

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 登 録 監督・選手・補欠は所定の申込書にて登録すること。(氏名は楷書で記入する)

監督は選手を兼任できる(監督は補欠登録外)。登録後の選手の立順変更は認めない。

(7) 選手変更 ア 選手変更は、大会当日監督会議時まで認める。ただし、変更は原則登録した補欠内からとする。

イ 当日、登録チームに緊急を要することで欠員が生じた場合、監督会議にて承認された場合に限り大会に参加できる。ただし、年齢区分・女子選手枠の条件を満たすこと。

(8) 表 彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。

(賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する)

ウ 参考記録で参加のチームは表彰の対象外とする。

(9) その他 その他、不測の事態が生じた場合は監督会議にて審議し決定をする。

クレー射撃競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月27日(日)	受 付 8時00分 開始式 8時30分 競技開始 9時00分	ニッコー栃木総合射撃場

(2) 編成及び参加人員

区 分		監 督	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市 対 抗	トラップ	1	5	9名以内	14チーム	192名
	スキート		3			
町 対 抗	トラップ	1	3	6名以内	11チーム	
	スキート		2			

※監督は選手を兼ねることができる。

- (3) 競技方法 市対抗・町対抗ともに、トラップ・スキートとも1人1回50個撃ちとし、2種目の得点の合計により順位を決定する。
使用銃は12番以下とし、使用散弾はトラップ7.5号、スキート9号以下としグラム数は24gとする。

- (4) 規 定 日本クレー射撃協会競技規定による。

- (5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。
申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。
イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。
また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕
ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

- (6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、市町体育・スポーツ協会は10月11日(金)までに変更を含めた全員を記載した変更届をデータで提出すること。※大会開催要項、7中央大会の実施方法、12)選手変更を参照のこと。

- (7) 表 彰 ア 市対抗・町対抗ともに、2種目の合計得点により、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

※ 同点の場合

合計得点が同点の場合は、選手全員の最終ラウンド(2ラウンド目)の合計得点の高いチームを上位とする。更に同点の場合は、各チームのT(トラップ)、S(スキート)の高得点者1名ずつ(計2名)の合計得点の高いチームを上位とする。

- イ 市対抗・町対抗ともに、2種目の得点の合計により、第1位から第3位まで賞状を授与する。

賞状は、市町名とチーム名を記載した賞状を1枚授与する(個人表彰はしない)

- (8) クレー代 1人 3,200円

- (9) その他 参加選手は申込の際に、住所、氏名と使用する銃の所持許可番号・火薬類譲受許可番号・持ち込み装弾の数を必ず記入し、報告すること。選手変更の際も同様に行うこと。

報告用紙は、大会前に各市町の監督にクレー射撃協会から送付する。

ゼッケンを各市町で用意する(トラップ：白地に黒文字、スキート：白地に赤文字)。

例 背面1枚

市町名
2
※(申込書No.)

ライフル射撃(ビームライフル)競技実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月27日(日)	役員集合 8時00分 監督・選手受付 8時30分～55分 開始式 9時00分～15分 競技開始 9時30分	栃木県ライフル射撃場 宇都宮市新里町乙1067 第2射場(10m)

(2) 編成及び参加人員

区 分	監 督	選手 (補欠を含む)	チーム編成	参加市町村数	計
市 対 抗	1	5(補欠2)	6名以内	14チーム	150名
町 対 抗	1	5(補欠2)	6名以内	11チーム	

※監督は選手を兼ねることができる。※補欠選手を必要に応じて登録すること。

- (3) 競技方法 市対抗・町対抗ともにビームライフル(BR)肘撃ち一人合計40発(20発×2回)とし、3選手の合計点で順位を決定する(椅子にかけ、テーブル上に両肘をつき、銃を支える)。銃を支える腕の角度は、テーブルと肘から手の角度が30度以上あること。個人順位は、本戦の成績上位者8名によりBRファイナルを行って決定する。本戦成績(40発合計)市町の各々上位4チーム(計8チーム)により、Mix競技を実施する。Mixチームはビームライフル(BR)1名とビームピストル(BP)1名の2名で構成し(男女区別なし)、4チームずつ2射群で実施する。競技はBRとBPを交互に10発ずつ撃ち、2名の合計点でMixチーム順位を決定する。同点の場合は全チーム終了後に同点チームの順位決定戦を行う(BR, BP1発の合計点で決定する)。
- (4) 競技規則 (公社)日本ライフル射撃協会競技規則及びローカルルールを併用する。
- (5) 参加資格 ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は前住居地から出場することができる。イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。〔学連(日本学生ライフル射撃連盟)の登録者を除く〕ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。
- (6) 選手変更 申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日の競技開始30分前までの変更は認める。
- (7) 表 彰 ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。イ 市対抗・町対抗ともに、第1位から第3位まで賞状を授与する。賞状は、市町名とチーム全員の氏名を記載した賞状を1枚授与する。ウ 個人(BR)及びMixチーム1位から8位までに賞状を授与する。※競技得点は、団体競技結果から得点を加算する。個人戦・MIX戦順位は得点に含まれない。
- (8) その他 BR及びBP銃は、栃木県ライフルスポーツ射撃協会準備する。ただし、各市町所有の銃及び個人所有の銃の使用は認める。昼休みにBPの体験射撃を行います(Mixチーム優先)。駐車場は第3射場(100m射場)の東側を利用して下さい。第1射場、第3射場には無断で立ち入らないこと。見学は可能であるので希望者は是非とも射場管理者に申し出でて下さい。コロナ感染症防止の観点から、体調がすぐれない場合の来場は遠慮してください。

グラウンド・ゴルフプレー実施要項

(1) 日程及び会場

期 日	日 程	会 場
10月20日(日)	集 合 8時50分 開 始 式 9時00分 プレー開始 9時30分	真岡市鬼怒自然公園芝生広場

※ 10月20日(日)が荒天の場合は、中止する。

(2) 編成及び参加人員

区 分	選 手	チーム編成	参加市町数	計
市 対 抗	10名	10名以内(内男5名女5名以内)	14チーム	250名
町 対 抗	10名	10名以内(内男5名女5名以内)	11チーム	

ア チームは、10名のプレーヤー(男・女各5名以内)で構成する。うち1名を代表者とする。

イ チームは、組リーダーを2名選出する(代表者を兼ねることができる)

(3) プレー方法

ア 市対抗・町対抗ともに8ホール×4ラウンドを行い、上位の男・女3名の合計打数の少ないチームを上位とする。

イ 打数が同じ場合は、チームの最少合計打数の少ないプレーヤーを比較し、より少ないプレーヤーがいるチームを上位とする。それでも同じ場合は次の最少打数のプレーヤーを比較する。以下同じ方法による。全員が全く同じ場合は、代表者によるプレーオフを1ホール30m(ニアピン)により行い、決定する。

(4) 規 定

ア プレーは公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会ルールを適用する。

イ 組リーダーは、組を取りまとめてプレーを進めることとする。

ウ チームの服装については、特に定めない。

(5) 参加資格

ア 市町大会が開催された時点で住民登録している市町から出場する。

申込締め切り日以降、生活上やむを得ず転居した場合は、前住居地から出場することができる。

イ 小・中・高校生は出場できない。ただし、定時制・通信制高校・各種専修学校等に在学するものは、一般社会人とみなし出場できる。また、短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。〔学連(日本学生〇〇連盟)登録者を除く〕

ウ 不正行為が認められた場合は失格とする。

(6) 選手変更

申込み締切後の変更は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合は、当日のプレー開始30分前までの変更は認める。※大会開催要項、7 中央大会の実施方法、12) 選手変更 を参照のこと。

(7) 表 彰

ア 市対抗・町対抗ともに、第1位の市町に優勝楯(持ちまわり)をそれぞれ授与する。

イ 市対抗・町対抗ともに、団体総合第1位から第3位までに賞状を授与する。

ウ 市対抗・町対抗ともに、個人表彰として男女別に合計打数の少ないプレーヤー第1位から第3位までに賞状を授与する(総合成績への反映は、団体総合の成績のみとする)。

(8) そ の 他

ア 用具(ボール、クラブ)は各自持参し日本グラウンド・ゴルフ協会の認定品を使用すること。

ただしホールポスト・スタートマットは栃木県グラウンド・ゴルフ協会で作成する。

イ マーカー・筆記用具・雨具・名札は各自持参のこと。

ウ 組合せ表は、栃木県グラウンド・ゴルフ協会が作成する。

ホッケー競技実施要項 (オープン競技)

- (1)期 日 令和6年10月27日(日)
集 合8時00分 開 始 式8時30分 競技開始9時00分
- (2)会 場 今市青少年スポーツセンターホッケー場 人工芝競技場
- (3)編 成 監督1、選手12名以内とする。
- (4)参加資格 スポーツ傷害保険に加入している一般社会人
※小・中・高校生は出場できません。
ただし、定時制・通信制高校生・各種専門学校等に在学するものは、
一般社会人とみなし出場できる。
- (5)競技方法 ア 競技時間は10分ハーフとし、延長は全試合を通じ実施しない。
イ リーグ戦において上位決定方法は ①勝点制(勝3・分1・負け0)
②勝利数③総得失点差、④総得点数、⑤当該チーム同士の対戦成績、
⑥SO戦の順とする。
ウ クラブ対抗戦とする(6人制)
エ (公社)日本ホッケー協会2024年度6人制競技規則を準用する。
オ ヒットは禁止とする。
- (6)参加料 一人200円(チームでとりまとめて当日受付時に納入する)
- (7)申込み先 (一社)栃木県ホッケー協会事務局あてに、メール(tochigi.hockey@gmail.com)
- (8)申込み締切 令和6年9月6日(金) 【期限厳守】
- (9)抽選会及び 令和6年9月7日(土) 13時00分～
代表者会議 会場は現時点で未定のため、参加チームへ別途連絡する。
- (10)そ の 他 各市町スポーツ協会が参加チームおよび関係選手を把握するため、
参加チームの申込み状況を報告することがあります。
- (11)問合せ先 (一社)栃木県ホッケー協会事務局
TEL : 080-2368-5535
メール : tochigi.hockey@gmail.com 担当 : 大崎

ハンドボール競技実施要項 (オープン競技)

- (1)期 日 令和6年10月20日(日)
集 合 9時00分 開始式 9時20分 競技開始 9時30分
- (2)会 場 石橋体育センター
- (3)編 成 監督1、選手15名以内とする。
- (4)競技方法 ア 競技時間は20分ハーフとし、延長は第1延長までとする。
(7m・T・Cで決定する)
イ クラブ対抗競技とする。
ウ 令和6年度日本ハンドボール協会競技規則による。
- (5)参加料 一人200円(チームでとりまとめて申込書と併せて納入する)
- (6)申込み先 〒328-0075 栃木市箱森町29-25
栃木県ハンドボール協会事務局 TEL 090-8804-6754
FAX 0282-25-2336
新 井 恵 美 宛て
- (7)申込締切 令和6年9月13日(金)12時00分 期限厳守
- (8)抽 選 会 令和6年9月14日(土)13時00分～
- (9)そ の 他 各市町スポーツ協会が参加チームおよび関係選手を把握するため、
参加チームの申込み状況を報告することがあります。
参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

ラグビーフットボール競技実施要項 (オープン競技)

- (1) 期 日 令和6年10月20日(日)
集合および開始式 9時00分 競技開始 9時30分
- (2) 会 場 栃木県総合運動公園ラグビー場
- (3) 編 成 ア 監督、選手を含め11名以内とする。
イ 令和6年度栃木県ラグビーフットボール協会の登録選手とする。
- (4) 競技方法 ア ラグビーフットボール7人制競技とする。
イ トーナメント戦とする。
ウ 令和6年度日本ラグビーフットボール協会規定の競技規則による。
エ 競技時間は7分ハーフとする。
オ 敗者戦も行う。
- (5) 参加料 一人200円(チームでとりまとめて申込書と併せて納入する)
- (6) 申込み先 〒321-0132 宇都宮市雀の宮1-8-3
栃木県ラグビーフットボール協会
齋藤 陽三 宛て
T E L 090-1731-1454
- (7) 申込締切 令和6年9月6日(金) 期限厳守
- (8) そ の 他 参加チームは、各市町体育・スポーツ協会が関係選手を把握したいので、参加の旨連絡をとり出場願います。チーム編成は、選抜・単独どちらでも可。
参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

空手道競技実施要項 (オープン競技)

- (1) 期 日 令和6年10月20日(日)
集 合 8時30分 開 始 式 9時30分 競技開始 9時45分
- (2) 会 場 県立県北体育館(サブアリーナ)
大田原市美原 3-2-62 電話 0287-22-8012
- (3) 編 成 自由組手の部、各郡市複数チームの出場を認める。
監督1、選手3(先鋒・中堅・大将)、補欠2とする。
- (4) 競技方法 トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- (5) 規 定 (公財)全日本空手道連盟競技・審判規定による。
選手は、全空連検定品の安全具(メンホ、拳サポーター、ホテイプロテクター、ファールカップ、シンガード・インステップガードの6点)を着用しなければならない。
- (5) 参加料 一人200円
(郡市町空手道連盟でとりまとめのうえ、参加申込書の振込先に納入する)
- (6) 参加資格 小・中・高校生は出場できない。短大・大学生については、住民登録をし、現に居住している者とする。
- (7) 申込み先 〒329-2124 矢板市下太田 493
栃木県空手道連盟 事務局次長 高橋 芳生 宛て
TEL 090-7736-8559
E-MAIL y.takahashi@kakuwa.jp
- (8) 申込み締切 令和6年9月6日(金) 期限厳守
- (9) そ の 他 参加チームは、各市町体育・スポーツ協会が関係選手を把握したいので、参加の旨連絡をとり、出場願います。

参加チームは、必ずスポーツ傷害保険に加入すること。

銃剣道競技実施要項 (オープン競技)

- (1)期 日 令和6年10月27日(日)
集 合 8時00分(役員等) 開始式9時45分 競技開始10時30分
大会当日 9時20分から審判監督会議を行う(審判部長の指示による)
- (2)会 場 壬生町総合運動場体育館
- (3)選 手 参加資格は、住民登録をしている市町から出場すること。
ア 団体戦：監督1・選手3・補欠1で編成し、何チームでも参加可。
(監督は選手を兼務することができる)
イ 個人戦：男子50才以上の部、女子の部
- (4)試合の種別(細部については、参加チーム数及び参加者数により決定する)
ア 団体戦：リーグ戦をし、上位2チームによるトーナメント戦により、優勝・準優勝・第3位2チームを決定する。
イ 個人戦：リーグ戦とし、優勝・準優勝・第3位2名を決定する。
- (5)大会規則
ア 試合要領：団体戦の試合は、全て3本勝負、試合時間3分、勝負が決しない場合は判定とする。
チームの勝負はチームの勝数、総勝者数、総勝本数の多いチーム順とする。
イ 審判規則
i 審判員は全日本銃剣道連盟指定審判員有資格者か審判部長が指名した者とする。
ii 本大会規則及び銃剣道試合・審判規則及び細則に従い、勝敗を決定する。
iii 審判員の構成は、主審1・副審2をもって組織する。
- (6)参加料 一人200円
- (7)申込み締切
選手の申込みは1部を令和6年9月27日(金)までに下記あて申込書を提出のこと。
〒321-0145 栃木県宇都宮市茂原 3-1198-1 丸山浩三 方
栃木県銃剣道連盟 事務局 宛て TEL 090-8105-2093
なお、団体戦の選手に変更が生じたチームは、申込書を用い大会当日審判監督会議時に提出し承認を受けること。
- (8)注意事項 試合の服装は、袴上下等を着用し、運動靴の使用は認めない。
各選手は、努めてスポーツ傷害保険等に加入するものとする。